

人流データ活用による観光動向調査・分析業務 基本仕様書

1 業務名

人流データ活用による観光動向調査・分析業務

2 業務の目的

本市では、「熊本市観光マーケティング戦略（令和6年（2024年）3月策定）」に基づき、市場調査に基づく施策の検証・検討を行うこととしている。

本業務は、スマートフォンの位置情報による人流データを活用した観光客の動態把握・分析を行うことで、効果的な誘客や受入れ施策の展開、施策の効果検証等に活用することを目的とする。

3 履行場所

委託者の指定する場所

4 履行期間

契約日から令和8年（2026年）3月31日（火）まで

5 業務内容

(1) 人流データシステムの利活用

ア 国内観光客版

(ア) 内容

熊本市を訪れた観光客の発地や、来訪地等といったスマートフォンの位置情報による人流データについて、随時データの確認及び分析ができるようにすること。なお、データについては原則24時間365日取得したものを利用し、観光スポット毎の状況がわかるようにすること。

(イ) 対象地点の設定

熊本市内を中心に観光スポットの設定を行えること。

(ウ) 地点データの更新

- a データの更新が適宜行われるものであること。
- b 過去のデータが収集分析可能なものであること。

(エ) 分析機能

観光客の分析メニュー（単軸での分析メニュー、例：来訪地分析、発地分

析、属性分析、周遊分析等）を少なくとも4つ用意し、各種分析軸を掛け合わせたクロス集計ができること。

システムにて活用できる分析機能及びクロスして分析できるデータについては提案書に記載すること。

イ 訪日観光客版

分析機能

- (ア) 国籍別に熊本市への来訪者数及び宿泊、滞在、通過等の来訪形態が把握できること。
- (イ) 国籍別に来訪者の多い熊本市の観光スポットやエリアが把握できること。
- (ウ) 国籍別に熊本市来訪前後の滞在エリア（市町村等）が把握できること。
- (エ) 国籍別に熊本市との周遊率の高いエリア（市町村等）が把握できること。
- (オ) 広域的な周遊ルートや旅程日数等が把握できること。

ウ 国内版・訪日版共通

(ア) データのダウンロード

一般的なWebブラウザ（Google Chrome等）で常に関連でき、Excel データ、CSV データなどシステム利用者において抽出・分析が可能な形式とする。

(イ) 利用開始日及び利用期間

契約締結後1ヶ月以内にシステム利用を開始できるようにすること。なお、期間はシステム利用開始日から本契約が終了する日までとする。

(ウ) 追加アカウントへの対応

熊本市観光政策課以外に、熊本国際観光コンベンション協会用の追加アカウントを付与すること。

(2) 「月次レポート」用のフォーマット作成

ア 統計項目の設定

人流データを加工し、本市の観光客数等の統計情報をまとめた「月次レポート」用のフォーマットを国内版・訪日版それぞれ作成すること。なお、フォーマットの記載内容については、前述の分析機能にある内容のうち本市の観光産業の発展に有用と考えられる項目の提案を行い、委託者と協議のうえ決定すること。

イ レポートフォーマット作成

- (ア) 月次レポート作成用のテンプレート（フォーマット）の作成

取得したデータを自動で加工し、当該加工データを基に、表や円グラフ、折れ線グラフ等を自動作成できるフォーマット（Excel 形式）を作成すること。

(イ) レポートのレイアウトの擦り合わせ

表やグラフの選定や表示項目の詳細については、委託者と協議を行う。

(ウ) レポートフォーマット運用手順書の作成

レポートフォーマットの作成業務が容易に実施できるよう運用手順書を作成すること。

(エ) データ公表について

作成するレポートフォーマットは外部に公表する。

なお、公表データの内容・粒度については、委託者と協議を行う。

(3) サポート体制

ア カスタマーサポート

システムの操作設定、機能的・技術的な質問等に対し、必要に応じ電話又はメールにて対応すること。

イ アドバイザー支援

提供システムを活用した分析手法及び分析結果の利活用等について、適宜アドバイザー支援を行うこと。

6 納入成果物

(1) 完了報告書

A4 紙、電子媒体（Word、PDF ファイル）

(2) 人流データシステム（国内版・訪日版）の操作マニュアル

電子媒体（Word、PDF ファイル）

(3) レポートフォーマット

電子媒体（Excel ファイル）

(4) レポートフォーマット運用手順書

電子媒体（Word、PDF ファイル）